





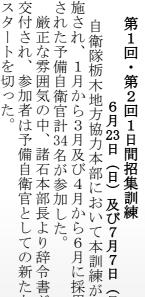
諸石本部長より辞令書を 交付される予備自衛官



諸石本部長による精神教育 を受ける予備自衛官

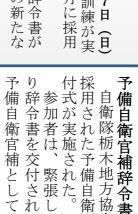
宣誓をする予備自衛官補

予備自衛官等制度について説 明を受ける予備自衛官補



タ

辞参式用 自 自 令加がさ衛 自 書者実施に協っていた。 官補 交 さ 予 木 ^{八地}方協力 た後、 官補 \mathcal{O} 交付式 第 本 部 2 ち 歩を踏 宣誓 名 に にお 対い 書諸 月7日 (F, 日を読み上ばる本部長り





89式小銃射撃を実施する 女性予備自衛官

い索きに 無施参た。 い設加 の器し 材た で 声生今 5 が活回て 触備 | 多に | である る自 生だいと官 練かかロ経はか れし 験めら たプがっは 結 でた

に験各 も的種施練加練第 月 3 使に施設練しに3 20回 え操設科度 0 日 5 作器職向残予 械種上暑備施 口 たの訓にが自設 説練努厳衛隊明にめし官が 24 訓 をおたい1担 日練 索段受い 中 1 任 をのけ 7 0 す 演生 名 る 種が本 練活体



救急包帯の巻き方を演練する 女性予備自衛官

施設器材について説明を受ける 予備自衛官

体力測定(反復横跳び)を 実施する予備自衛官

顕彰状及び永年勤続義彰愛賞者紹介



令和元年9月21日表彰 遠藤准尉 (顕彰状)



令和元年9月22日表彰 後列(5年表彰) 雨谷曹長、水野准尉、荒井准尉、吉井准尉 前列:内田3曹(20年)藪崎2尉(5年)



令和元年9月24日表彰 武藤1曹(5年)細野2尉(顕彰状)荒舩3佐(5年)

衛官 自

採用者等紹介

- 長 早乙女 浩行 令和元年 7月15日付
- ・准 尉 大谷 敏之 長 塚原 一則 曹 令和元年 8月15日付
- 英治 ・准 ・曹 秀壱 長 小林 長 矢古宇 勝典 • 2 曹 大山 圭司 · 士 長 佐々木 秀侍
- 令和元年 9月15日付 これからよろしくお願いします!

任期満了退職者等紹介

- 通宏 7月14日付
- 佐 安良岡 哲夫
- 長 大塚 紀拓 長 荻野 瑛 長 敦子 坂本
- 長 星野 寿希也 令和元年 9月14日付

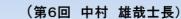
永年の勤務お疲れ様でした!

転出者紹介

五十嵐 美佐子 (東京地本へ)

令和元年 9月20日付 新天地でのご活躍を祈念します

予備自衛官補から予備自衛官になった隊員の紹介



Q:自己紹介をお願いします。

中:中村 雄哉と申します。普段はシステムエンジニアをしています。

Q:予備自衛官補になろうと思ったきっかけは?

中:ニュース等で日々行われている自衛官の訓練を見て、もし戦争になってしまった としたら、自衛官が戦っているのに自分は何もできない状況が凄く嫌だったので、 自分も何か出来るような人間になりたいと思い志願しました。

する中村士長 Q:予備自衛官補から予備自衛官になってみて感じることはありますか?

中:予備自衛官補の50日間の教育訓練期間中よりは今の方ができることが増えたか なという自信はありますね。

Q:今後の目標は?

中:予備自衛官補の教育期間中にお世話になった班長達みたいにカッコいい自衛官に 少しでも近づけるような予備自衛官になりたいと思います。

救急法の訓練に 取組む中村士長(下) と若目田1士 (2名とも予備自補出身)



即応予備自衛官の

ご協力ありがとうございました!

今年度より開始された公募予備自衛官から即応予備自衛官になるまでに取得する基本特技とその教育内容について概要をご説明します!

即応予備自衛官になるために参加する「特技教育」とは・・・?

基本軽火器・・・小銃、機関銃、対戦車火器等の取扱い、戦闘訓練や偵察活動等を実習します。特技取得後は、小銃小隊に配置されます。 基本迫撃砲・・・81㎜迫撃砲又は120㎜迫撃砲の取扱い及び射弾の観測や測量等を実習します。特技取得後は、迫撃砲小隊及び重迫撃砲中隊に配置されます。





基本迫撃砲の訓練の一例(教育日数39日間基準)



120m迫擊砲操作



共通の訓練(一例)

体力検定



この他にも、予備自衛官の訓練内容とは違い、常備自衛官と同等の教育訓練を実施して最短で2年以内に即応予備自衛官になります。 特技教育は、相馬原駐屯地にて行われ、第48普通科連隊(即応予備自衛官部隊)の常備自衛官が担任します。 もっと詳しく知りたい方や、予備自衛官補になって予備自衛官や即応予備自衛官を目指したくなったら栃木地本援護課までご連絡ください!





栃木リザーブニュースは、予備自衛官、即応予備自衛官 と予備自衛官補の情報交流の場として、また企業様の予備自 <mark>衛官等制度へのご理解の資となる情報を発信していきたいと</mark> 思います。

皆様のご意見ご要望をお待ちしております。

自衛隊栃木地方協力本部援護課 予備自衛官室





TEL 028-634-3385 FAX 028-634-3387